

バックアップ用ケーブル使用方法

安全上のご注意（安全のため必ずお守りください）

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記の内容にて説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。

お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。

（下記は絵表示の一例です）

	禁止の行為を告げる絵表示です。
	「危険」「警告」「注意」を促す内容があることを告げる絵表示です。
	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。

⚠ 危険			
■ 禁煙 こども取扱方法、危険を充分理解しないものに触れさせないでください。	■ クリップとケーブル端子の取付けは確実に 取付けが不十分のまま使用するとバッテリーの引火爆発や火災の原因となります。	■ ケーブル端子が腐食したまま使用しない スパークによりバッテリーの引火爆発の原因となります。	■ 自動車用バッテリー（12V）以外には使用しない 感電や発火、バッテリーの引火爆発の原因となります。
■ クリップ、ケーブルが破損するようなことはしない 破損したまま使用するとバッテリーの引火爆発や火災の原因となります。	■ ケーブルを切断、あるいは延長、クリップの交換などはしない バッテリーの引火爆発や火災の原因となります。		

⚠ 警告		⚠ 注意	
■ 取付けは正しい手順で行う 順序を誤るとバッテリーの引火爆発の原因となります。	■ 分解、改造をしない バッテリーの引火爆発や火災の原因となります。	■ ケーブルの取付けは ⊕ と ⊖ を逆にしない 電子部品の破損、焼損や火災の原因となります。	■ 水やその他液体を付着させない 破損の原因となる恐れがあります。
■ 静電気に注意 乾いた布などでの清掃や帯電した身体での取扱いは引火爆発の原因となります。	■ 異臭、変形など異常がある場合はそのまま使用しない バッテリーの引火爆発や火災の原因となります。 ※販売店にご相談ください。	■ 付着した液体（バッテリー液、LLCオイルなど）は水を含んだ布で拭き取る 損傷の原因となる恐れがあります。	

準備するもの

軍手、ビニール袋、スパナ、バックアップ用ケーブル

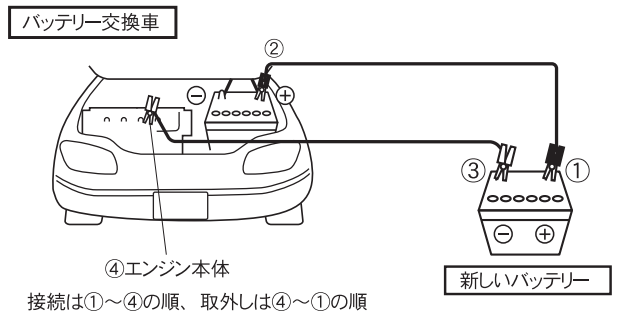
交換・使用手順

I. 作業前準備

1. 車体の鍵を抜いて、ライト及びルームランプが消灯していることを確認してください。（ドア等を開けても車内灯などが点かない状態にしておいてください）
2. ボンネットを開けてバッテリー固定用ステーを外してください。
3. 車載バッテリー（古いバッテリー）の両端子のターミナルを緩めてください。
※ターミナルはまだ外さないでください。

II. バックアップケーブルの取付け

1. 新しいバッテリーのプラス端子にバッテリーケーブルの赤クリップ（先端が細い方のクリップ）を取付けてください。
※クリップの平面部が下になるように挟んでください。（画像参照）
次にバックアップケーブルの赤クリップを車載バッテリーのプラスターミナルの金具を挟んでください。
2. 新しいバッテリーのマイナス端子にバッテリーケーブルの黒クリップ（先端が細い方のクリップ）を取付けてください。
※クリップの平面部が下になるように挟んでください。（画像参照）
3. バックアップケーブルの黒クリップをボディアースもしくはエンジン本体の金具部分を挟んでください。
4. 新しいバッテリーが取外し載せ替え作業の際に邪魔にならない場所であることを確認してください。



赤クリップ ⊕ 側



黒クリップ ⊖ 側

Ⅲ. バッテリー交換

1. 車載バッテリー(古いバッテリー)のマイナスターミナルを取外します。
2. 車載バッテリー(古いバッテリー)のプラスターミナルの接続部分(バッテリーと車両からのケーブル)を取外し、ビニール袋に包んで**ボディと接触しない場所に置きます。**
※プラス端子がボディに接触した場合、バッテリーがショートしますので確実にショートさせない位置であることを確認してください。
※バックアップケーブルは金具に取付けた状態でターミナルを外してください。
3. 車体から古いバッテリーを降ろし、バックアップケーブルをつけたまま新しいバッテリーを車体に載せます。
4. プラスターミナルを取付して仮止め後、マイナスターミナルをはめます。
※両ターミナルを取付けるまでは絶対にバックアップケーブルをとらないでください。
5. バックアップケーブルの両方の黒クリップを取外してください。
次にバックアップケーブルの両方の赤クリップを取外してください。(④→③→②→①の順に外します)
6. バッテリーのターミナルをしっかりとおまで取付けていることを確認して締付けてください。
7. バッテリー固定用ステーを取付けてバッテリーが動かない事を確認してください。

※バッテリーに保護用枠が付いている場合

上記の作業手順 Ⅲ-5 まで実施してください。
(バッテリーの交換まで終了した状態→ターミナルの取付け前の作業まで行ってください)

1. 取外した古いバッテリーから保護用枠を取外してください。
2. 古いバッテリーにバックアップケーブルを取付けてください。
→古いバッテリーをバックアップ用に使用します。
※手順Ⅱをご参照ください。
→バッテリーは逆になっています。(古いバッテリーに先端が細い方を取付けます)
3. 新しいバッテリーのターミナルを外して、保護用枠を取付けてください。
→古いバッテリーからのバックアップは接続したままで保護用の枠を取付けます。
※手順Ⅲ1～2を参照して、両ターミナルを取付けてください。
4. バックアップケーブルを取外してください。
※手順Ⅲ-5～6まで実施してください。
5. バッテリー固定用ステーを取付けてバッテリーが動かない事を確認してください。

注意

- 絶対にバッテリーのプラス端子とマイナス端子を接触(ショート)させないでください。
- ブースターケーブルとして使用しないでください。
- 交換作業中はエンジンをかけないでください。

※記載の注意および使用手順に従わない場合等、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損等につきましては、一切その責任、保証は負いかねます。